



編集・発行 邑楽町役場企画課  
〒370-0692 (住所記入不要)  
☎ 0276-88-5511 (代表)  
☎ 0276-47-5007 (企画課直通)  
☎ 0276-89-0136  
URL <http://www.town.ora.gunma.jp>  
E-mail [koho@town.ora.gunma.jp](mailto:koho@town.ora.gunma.jp)

邑楽町携帯サイト  
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。  
携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>



〈第三十五回〉

若い人たちに語り継ぎたい、  
次の世代に残しておきたい。  
貴重な話をお届けしますー。

## あすへひとこと

「邑楽町の昔ばなし」より

### 邑楽町の地名あれこれ③



光林寺は秋妻の西に位置しています。  
写真は、本堂の西隣にある総ケヤキ造りの立派な観音堂。

#### 秋妻（あきづま）

秋妻字上秋妻にある時宗・光林寺は藤沢市の遊行寺の末寺です。この寺は、元もとは大栄寺といいました。藤原時代の天長二年（八二五）大栄師という立派な僧がここに来て、大栄寺を開いたそうです。秋妻と名付けたのは、この大栄師でありました。立派な僧でしたから、人の生きざまを念じて「秋妻」という地名を付けたと、光林寺に伝わる「穠妻道場の伝記」に書かれています。「穠」は「秋」の旧字体です。大栄師は、「穠」は人の世の無常を示しているもの」と考えました。というのは、春に芽を出した草木は、夏には生い茂つていますが、やがて秋には紅葉して散り果てます。人間もこれと同じく考えれば、なんと、無常のことではないか。という意味に「穠」を解釈しました。

また、「妻」についても無常と考えたのです。人間は、妻や女性の色恋に溺れると、人の道もわきまえず、家も国も滅ぼす結果になることがある。生きて行くからには、いろいろな悩みや欲望があるが、そこを強く乗り越えて、人生は無常だということ

とを悟って色欲にとらわれてはならない。「妻」はそういう意味を含んでいるという考えでした。

さすがお坊さんです。死んでからの村人を浄土に生まれさせようとの切なる願いを込めて、この里に、「秋妻」という名を付けたといえます。ところで、秋妻の地名に付いては、なお深い意味から付けられたということも考えられます。

地名研究で名高い、近畿大学の谷川健一教授は『あきづ』は湿地帯のことで、現代も湿地帯をアツクまたはアクトと呼ぶ。『秋津島』が大和の国、つまり日本国を意味するように変わった。湿地帯であるから稲がよく出来る」と説いています。

「穠」は穀物がよく実ること。この穠妻地方は湿地帯でしたので、稲作に適していたことでしょう。「あきづしま」から、「し」を省略すると「あきづま」になります。古来、米作りの出来たこの地を「あきづま」と呼んだのではないかと仮説をたてる人もいました。また、日本地名事典によると古い時代には「秋妻」は「穠妻」と表記したとあります。これは、さきの「穠妻道場の伝記」にあるとおりです。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会  
平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



私たちがって  
(多々良沼公園)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)



この広報誌は、自然保護のため  
植物油インキを使用しています。

#### ひとりごと From editors

▶春は、別れの季節。ついにも広報おうらの担当を離れることになりました。5年9か月。長いようであっという間のかけがえない時間でした。これまで町民のみなさんが主役の広報誌づくりを目指して、一日一日全力で仕事に向き合ってきたつもりです。取材でお世話になったみなさんには、感謝しても感謝しきれません。本当にありがとうございました。▶取材先で人の温かさに触れたり、子どもたちの満面の笑顔に出会えたりと、特別なことではなく、ありふれた日々の中に、仕事のやりがいがあるのだと気付かされました。今月号も最後までご覧いただきありがとうございました。そして、万感の思いを込めて、さようなら。(小林)